



いちようっ子

～夢いっぱい 笑顔いっぱい 共に生きるいちようっ子～

<学校教育目標> 児童数444名

- [強く] 自信をもち、心身ともに鍛える子
- [正しく] 深く考え、進んで学ぶ子
- [美しく] 明るく、思いやりのある子

11月22日は53年目の開校記念日

校長 大澤 紀子

朝晩の冷え込みに冬が近くなってきたと感じられるようになりました。校庭のいちようの木が色づき始め、黄色の葉が陽の光にキラキラと輝いています。

先月の校内音楽会、持久走大会には、多くの保護者の方に参観いただきありがとうございました。体育館で行った校内音楽会は、発表学年の優先座席を用意しましたが、保護者の皆様が譲り合いの心をもって協力していただいたので、混乱もなく温かく素敵な音楽会を行うことができました。また、持久走大会は、今年から校庭で実施することにしました。校庭を周回する形でしたので、スタートからゴールまで、お子さんの頑張る姿をご覧いただけたと思います。温かい声援をいただき、ありがとうございました。行事の運営方法の変更にご理解、ご協力いただき感謝申し上げます。

さて、11月22日は、鴻巣北小学校の53年目の開校記念日でした。私は、今年度から本校に着任しましたので、この機会に鴻巣北小学校の歴史を調べてみました。開校10周年の記念誌を紐解いてみました。

鴻巣北小学校は、昭和47年（1972年）4月に開校しました。鴻巣東小を分離し、箕田小学校の一部を併せ、通学区を編制し、鴻巣北小として創設されました。開校当初、鴻巣東小と箕田小に分散していた児童が11月に新しい校舎が完成したことで統合され、それを記念して11月22日を開校記念日に制定したそうです。翌年には、校章、校歌、校旗が制定され、その後、校舎の増築、体育館完成等の環境整備が進められました。地域にできた新しい学校として、PTAや地域の方がみんなで盛り上げていこうという意気込みが感じられる学校であったと記念誌に記されています。開校当時の意気込みは、今もこの地域に脈々と受け継がれていると感じています。

12月の全校朝会では、開校記念日に関連したクイズを通して、鴻巣北小の歴史について理解を深めたいと思っています。保護者の方も子どもと一緒に考えてみてください。

Q1 鴻巣北小と鴻巣北中はどちらが先にできたでしょうか？

- ①鴻巣北小が先 ②鴻巣北中が先 ③両方同じ

Q2 今年の鴻巣北小の児童の数は444人ですが、これは昔(鴻巣北小ができた時)と比べて多いでしょうか？

- ①昔より多い ②昔より少ない ③同じくらい

Q3 これまでで一番児童の数が多かった時は、何人だったでしょうか？

- ①701人 ②923人 ③1,037人



開校2年目の鴻巣北小（1973年）

Q4 鴻巣北小の校歌を作詞した方は、「野崎源三郎さん」ですが、この方はどんな方でしょうか？

- ①当時の校長先生 ②当時の鴻巣市長
③当時の埼玉県知事

※クイズの答えは全校朝会(12/3)でよくお話を聞いているとわかりますので、お子さんに確かめてみてください。次号の学校だよりでもお知らせします。

子どもたちには、鴻巣北小には53年という積み重ねた伝統があり、鴻巣北小は現在の子どもたちはもちろん卒業生や地域の方々にとっても大切な学校で、みんなが愛する学校であるということを伝えていきたいと思っています。これからもこの学校を大事に、鴻巣北小に関わる全ての人々がわが学校として誇りに思える学校を作っていかなければならないと改めて感じています。いつまでもみんなが大好きな鴻巣北小であるよう、子どもたちと一緒に努力していきます。